

# 「創刊下北」

下北・県内・県外  
「育アンケート調査！」  
プチ

## 解説

本州最北端に位置する青森県の下北地域。津軽・南部に比べると、「謎」なイメージが強い下北地域、そしてそこに住む人々を調査。興味深い真相が明らかに！

### 下北のイメージ

**回** 答上位は、「豊かな自然環境」(約25%)、「食べ物がおいしい」(約23%)、「厳しい自然環境」(約19%)であった。また、下北地域外の回答者は下北地域内の回答者と比較して「神秘的」だと回答した割合が高かった。

### 北限のサルvsアピオス

**下** 北地域に住むサルは世界で最も北に生息しており、天然記念物にも指定されているが、

むつ市脇野沢地区や佐井村を始めとする下北地域では、畑に来ては作物に被害を与えるので、農家の頭を悩ます種となっている。

ただし、この北限のサルたち、「アピオス」という作物にはなぜか手を出さない。アピオスとは、アメリカカホドイモと呼ばれる芋のことで、青森県が生産量1位を誇り、中でも下北地域での生産が盛んである。滋養強壮があり、あまりにも栄養が豊富なため、食べ過ぎは良くないとも言われている。



アピオス

### 下北の祭りランキング

**最** も票を集めたのは、年に一度、夏に行われ、イタコの

口寄せに多くの行列ができる「恐山大祭」(むつ市)だった。

2位の「田名部まつり」(むつ市)は京都祇園祭にルーツがあると言われ、最終日に5台の山車が一斉に引き別れる瞬間はまさに見物である。

3位は本州最北端で開催される「大間超マダグロまつり」(大間町)で、新鮮な大間まぐろの迫力な解体ショーを間近で見ることができ、ちなみに、即売会も大好評。

### 恐山伝説と鏡

**昔** から、鏡には強い魔力があると考えられている。三大霊場のひとつである

恐山に妊婦が入山する際、ポケットに鏡を入れておくことで赤ん坊を連れて行くという言霊を跳ね返せる、という言い伝えがあるそう。

また、恐山や仏ヶ浦の石や砂を持ち帰ってはならぬと言われているが、石には霊が宿りやすいからというのも、理由のひとつか。

### 意外と知らない日本一

**東** 通村には猿ヶ森砂丘と

ある。しかし、防衛省の管理になっていて、立入が禁じられている。そのため、知名度が低いのだ。



携帯からも  
アクセス  
できる！

「創刊下北」って？

2015年度創刊。青森県の出先機関「下北地域県民局」の若手職員7名が行った下北に関する意識調査等を基に作成。

詳しい解説は  
青森県ホームページで

下北地域県民局 寺子屋

検索

その他、

寄せられた下北情報

・マダグロ釣り漁船にテレビカメラマンを乗せるとマダグロが釣れない。

・猿ヶ森の湧水は傷を癒す効果がある。昔、一羽の鶴が傷を治していたとか。

・恐山でけがをすると治りが遅い。

・けいらんという、中に餡が入った団子と醤油だしの汁がぴったり合う。

・昆布と洗濯物を一緒に干してあるとか。

・時間がゆったりと流れている。  
・四季折々の山菜・超一流の魚介類など、一年中美味しいものが食べられる。しかも、自分で採取したり、調達できる。自給自足が可能な食の宝庫である。